

精神保健福祉領域における福祉と医療の連携についてのアンケート（報告）

配布数（内科、閉院等を除く精神科診療所）	42
回答数（件数）	35
回収率（％）	83.3

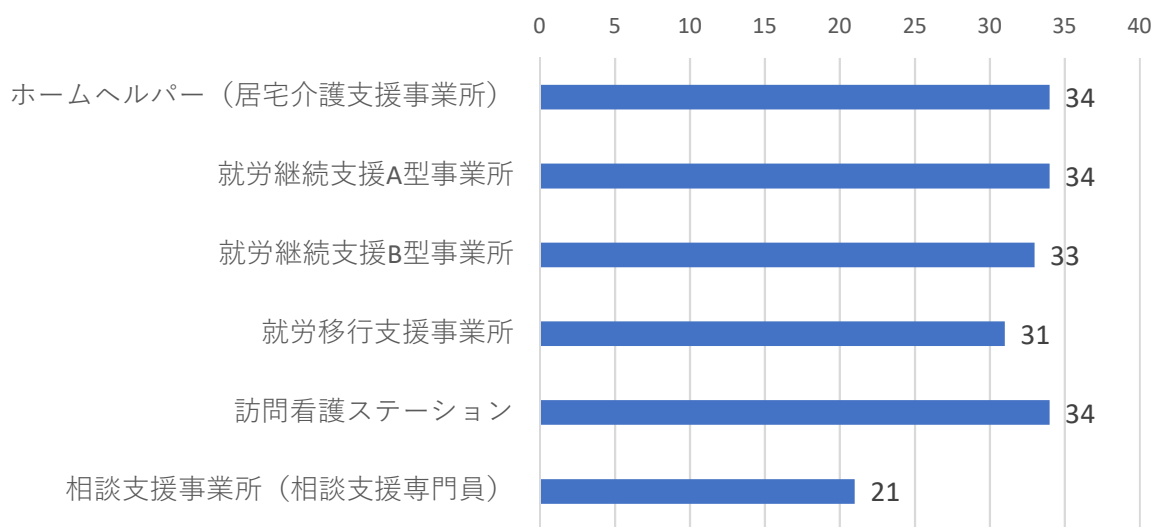
A 地域支援サービスを知っていますか（複数回答）

ホームヘルパー（居宅介護支援事業所）	就労継続支援A型事業所	就労継続支援B型事業所	就労移行支援事業所	訪問看護ステーション	相談支援事業所（相談支援専門員）	上記以外
34	34	33	31	34	21	4

※「上記以外」の内訳

地域活動支援センター、障害者職業センター、地域移動支援ⅠⅡⅢ事業所、NPO入居支援センター、福祉ホーム、デイケア、ピアサポート

A 地域支援サービスを知っていますか



他のサービスと比較すると、相談支援事業所が診療所医師にあまり認知されていない

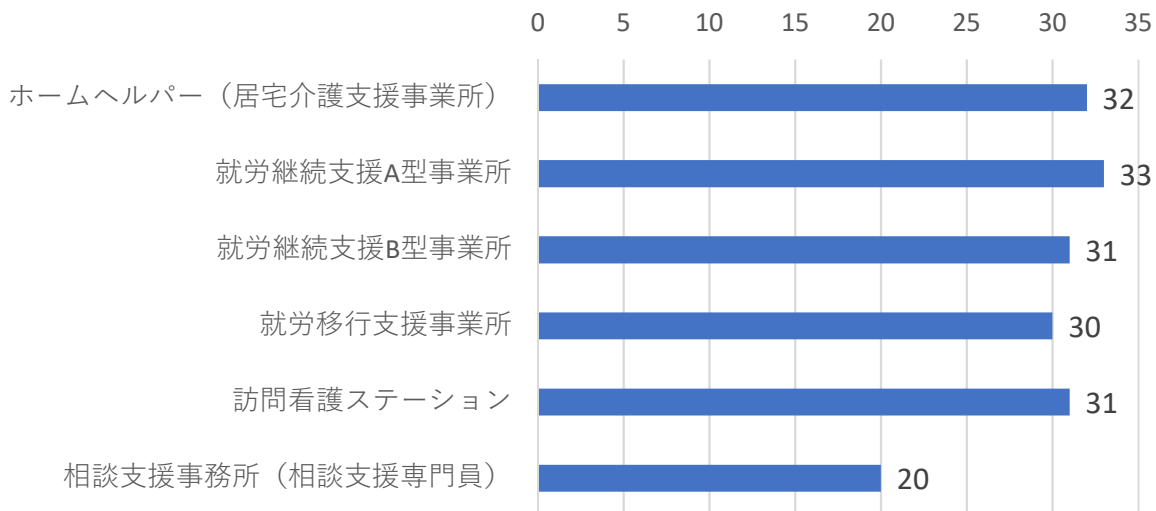
B 地域支援サービスを利用したことがありますか（複数回答）

ホームヘルパー（居宅介護支援事業所）	就労継続支援A型事業所	就労継続支援B型事業所	就労移行支援事業所	訪問看護ステーション	相談支援事務所（相談支援専門員）	上記以外
32	33	31	30	31	20	4

※「上記以外」の内訳

地域活動支援センター、障害者職業センター、地域移動支援ⅠⅡⅢ事業所、NPO入居支援センター、福祉ホーム、デイケア、ピアサポート

B 地域支援サービスを利用したことがありますか



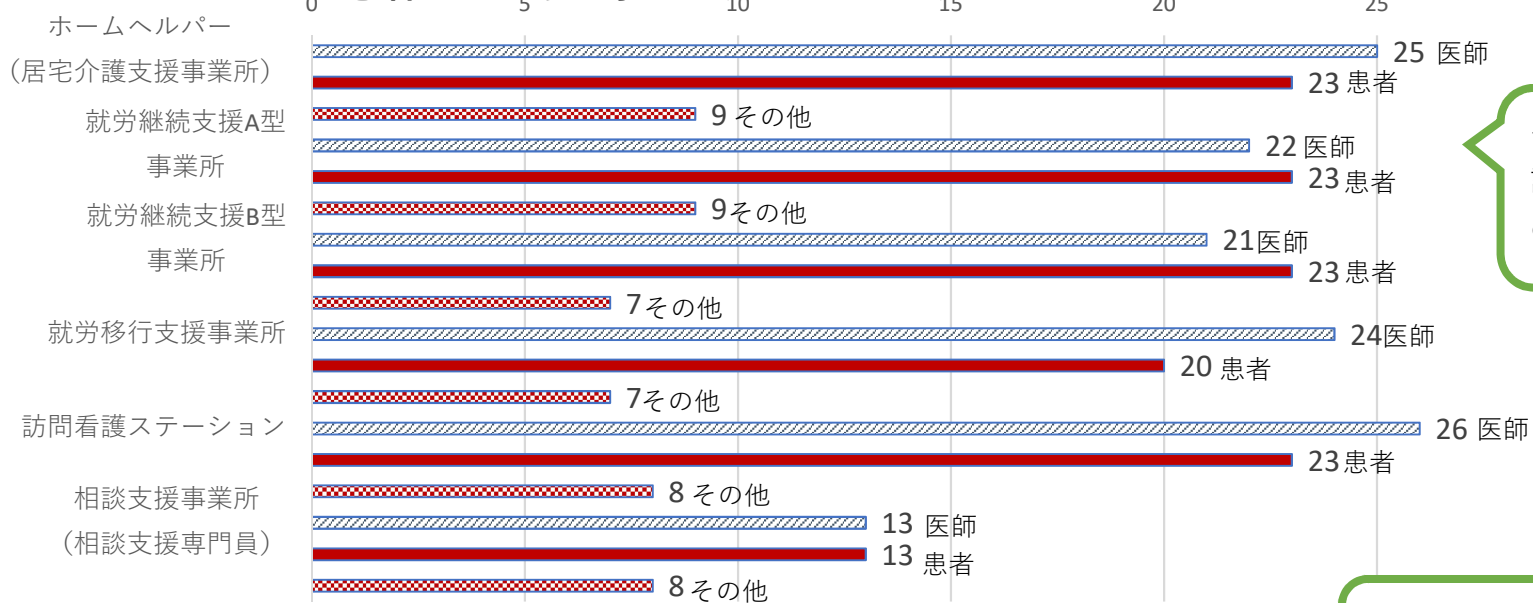
他のサービスと比較すると、相談支援事業所が診療所医師に活用されていない

C 地域支援サービスの利用は先生の提案ですか、患者さんからの求めでしたか

ホームヘルパー (居宅介護支援事業所)			就労継続支援A型 事業所			就労継続支援B型 事業所			就労移行支援事業所			訪問看護ステーション			相談支援事業所 (相談支援専門員)		
医師	患者	その他	医師	患者	その他	医師	患者	その他	医師	患者	その他	医師	患者	その他	医師	患者	その他
25	23	9	22	23	9	21	23	7	24	20	7	26	23	8	13	13	8

C 地域支援サービスの利用は先生の提案ですか、

0 患者さんからの求めでしたか



ヘルパー、就労移行、
訪問看護の利用は医師
の提案からがやや多い

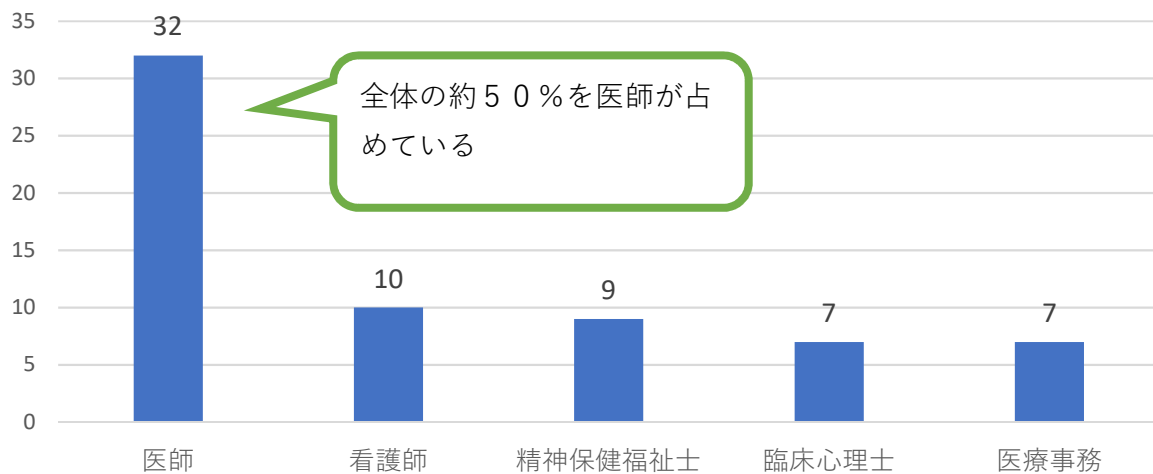
就労継続A、B型の利用は患者か
らの提案がやや多い

医師、患者ともに相談支援事業所の利用は低
い傾向にある

D 診療所内で地域支援サービスの窓口になる職員は誰ですか（複数回答）

医師	看護師	精神保健福祉士	臨床心理士	医療事務	その他
32	10	9	7	7	0

D 診療所内で地域支援サービスの窓口になる職員は誰ですか

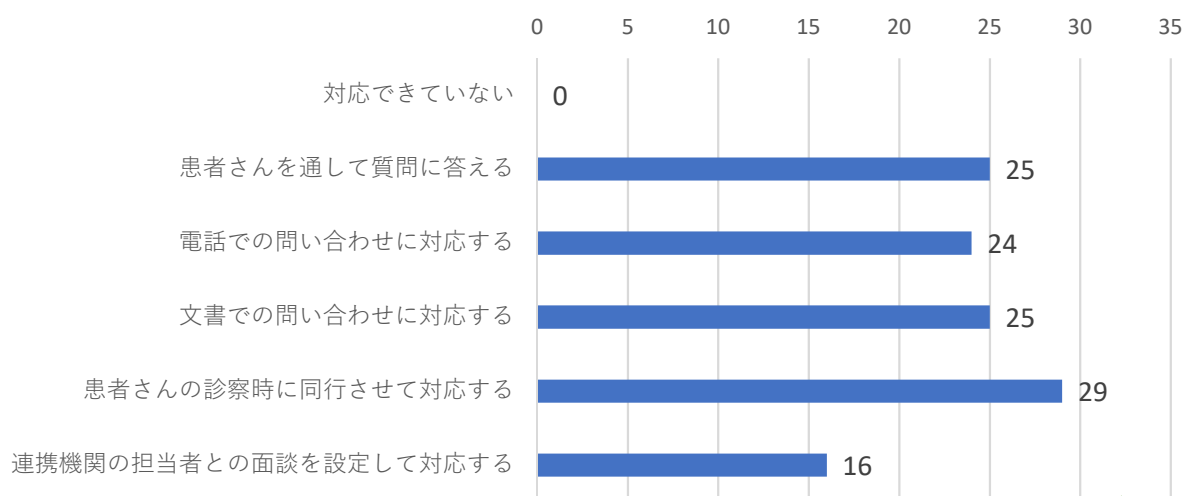


コメディカルが窓口になることは比較的少ない

E 地域支援サービス機関からの連携依頼にどう対応していますか（複数回答）

対応できていない	患者さんを通して質問に答える	電話での問い合わせに対応する	文書での問い合わせに対応する	患者さんの診察時に同行させて対応する	連携機関の担当者との面談を設定して対応する
0	25	24	25	29	16

E 地域支援サービス機関からの連携依頼にどう対応していますか



個別に面談を設定することは少ない

医師が相談の窓口になることが多いため、直接診察に同行して連携をすることが多い

F 地域支援サービス機関への連携・対応の希望がありますか（自由記載）

- ・ 当院が患者さんに必要なため、市の保健師さんに連絡を取り、サービスを利用したい旨を申し上げて、なかなか話が進まない。当院から一方的な情報提供に終わってしまうことがある。地域の保健所によっては、対応に大きな差がある。
連携を取りたくて、連絡しているのに、連携応じてくれないことが多い。
- ・ 予約なく突然来られても困る。
- ・ 精神疾患を持たれている患者に対して診ることができるように（1つ1つのイベントに反応しすぎ）
- ・ 岡山市の情報は得やすいのですが倉敷市や県北、東部の情報が少ないです。市の部会とは思いますが県との連携を図っていただいて地域差を改善してもらえると助かります。
- ・ 市や県の広報誌にそれぞれの担当者や利用者の声を反映したものを載せて配ってほしい
市や県のホームページにもわかりやすくのせてほしい
関連NPOも紹介してほしい
ワンストップの窓口がほしい（利用者にとっての）
- ・ PSW5人います
- ・ 患者さん本人への援助の手が増す機会を積極的に増やしていきたいとおもっています
患者さんと一緒に考え未来につながるヒントを探していきたいと思いますので些細なことでも御相談頂けましたら幸いです
- ・ やはり多忙のため効率的な連携を図りたいと思います。つまり短時間で連携効果を最大化したいと思います。働き方改革の推進を図りたいと思います。
- ・ 当院内の専門の地域連携部門が動いている
- ・ B型事業所の賃金の検討
- ・ サービスを一括して管理し患者さんのニーズにこたえる体制が望ましい
- ・ 危機状況の介入もしばしばでありその様な時の福祉サービス申請から導入に時間を要し苦慮することがあり行政の速やかな対応を希望する
- ・ 医師がしているため不十分な点が多い

- ・ 連携の方法やフィードバックの問題
- ・ 障害の背景を理解し、過剰な反応はしない
- ・ ワンストップ・効率化のための体制づくり
- ・ わかりやすい情報提供
- ・ 行政の対応改善